

e-Learning で学ぶ

# 従業員のための内部統制基礎

— 内部統制への取り組み意識は向上していますか？ —

2008年4月以降に始まる会計年度から、財務報告に係る内部統制の整備状況などの報告が、上場企業及びその連結子会社に義務付けられました。

内部統制は経営者や推進者だけが進めるものではありません。

全従業員が自社の内部統制整備に関する取り組みや整備された仕組みを理解し、各自の業務を定められた手順に則って行うことが重要です。

本教材では、以下の観点で学習ができます。

- ① 金融商品取引法の主旨に沿った内部統制の基本的な知識を習得できます。
- ② 内部統制を継続的に進めるための仕組みと従業員の役割を学習できます。
- ③ 事例を通して決められたルールを守ることの重要性を認識できます。
- ④ 従業員一人ひとりの問題として意識付けできます。

## 1 便利でわかりやすい教材！！ (標準学習時間:約1時間)

### 1: 音声付きのコンテンツ



単に見るだけの教材ではなく、聞いて理解することができるため、効率良く学習を行うことができます。ナレーションが画面に表示されるため、音声なしでの学習も可能です。

### 2: 確認テスト付き



確認テストを受けることで、教材全体の復習ができ、理解度を高めることが可能です。

コンテンツ言語  
日本語  
中国語、英語

学習画面イメージ



## 2 カスタマイズに対応します！！

本教材の基本部分に加え、貴社独自の内部統制の目的、推進体制など、オリジナルコンテンツを追加可能です。

(内容、費用については、別途ご相談)

## 3 日立製作所のノウハウを活用！！

本教材は、日立製作所が行っている内部統制整備のノウハウをふんだんに盛り込んでいます。



**標準コンテンツの内容 (標準学習時間: 約1時間)**

第1章 内部統制とは	第2章 内部統制の整備と実施	第3章 従業員としてのかかり方	第4章 まとめ
この章で学ぶこと	この章で学ぶこと	この章で学ぶこと	この章で学ぶこと
なぜ、今「内部統制」なのか?	内部統制の関係者	お客様からの注文で発生したトラブル	内部統制への取組み
・なぜ、今「内部統制」なのか?	・内部統制の関係者	・お客様からの依頼	ひとりひとりの意識が原点
・会社の信頼獲得	・経営者と従業員	・見積書の提出	確認テスト
・会社の信用失墜	・外部監査人	・課長への報告	
・会社の業績評価	内部統制の共通フレームワーク	・お客様からの不信任	
・会社の業績評価の信頼性	・内部統制を共通に見るための枠組みの導入	・お客様の回答	
・信用失墜の要因とリスク	・内部統制の共通フレームワーク	・その後の経過	
米国の内部統制の整備と評価の制度化	整備と評価の仕組み	・財務諸表の虚偽発覚	
・米国での不正の例	・内部統制の流れと全体像	信用失墜の要因とリスク	
・米国の法の制定	・設計と整備(Plan)	・会社のルールは?	
日本の内部統制の整備と評価の制度化	・運用(Do)	・問題点のまとめ(信用失墜の要因)	
・日本での不正の例	・テストと評価(Check)	・問題点への対応(リスクコントロール例)	
・日本の制度化の対応	・改善(Action)	内部統制を機能させるためには	
	・監査監視(Monitoring)		
	内部統制が有効に機能する会社の評価		

**カスタマイズについて (費用は別途お見積致します)**

貴社独自の内部統制の目的、推進体制などを、e-Learning 教材の内容(アニメーションやナレーション)に追加することができます。また、追加した内容に合わせて確認テストを変更することができます。

**ご利用形態**

お客様のシステム環境に合わせた方法が選択できます

**●コンテンツご利用料金**

お客様のイントラネット内に、HIPLUS などの e-Learning システムが構築済みの場合は、教材のみをご利用できます。

**●ASP サービスご利用料金**

お客様のイントラネット内に e-Learning システムが無い場合でもパソコンとインターネットに接続できる環境があれば、当社サーバにアクセスして ASP サービスをご利用できます。

専用の学習システムを社内に構築する必要はありません。専用の学習システムを社内に構築する必要はありません。受講者の学習進捗管理、テスト結果の確認を行うことができます。

**動作環境**

画面サイズ	ハードウェア環境	ソフトウェア環境	通信速度
High Color(16bit、65,532色以上) XGA(1,024×768ドット以上)	メモリ:128MB 以上推奨 サウンドボード必須 ヘッドホン(推奨)	OS:Windows2000 SP1 以上推奨 ブラウザ:Microsoft Internet Explorer 6.0 プラグイン:Macromedia Flash Player 8 以上 Adobe Reader 6 以上	64Kbps 以上

- HIPLUS は、日立電子サービス株式会社の登録商標です。
- その他、本パンフレットに記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標もしくは商標です。
- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合は、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、不明な点は、当社担当営業までお問合わせください。

**お問合せ**

【中国での御問合せ】

北京日立北工大情報システム有限公司 (HBIS)  
TEL: 010-5190-8103 内線361/362 FAX: 010-5190-8112  
E-mail: [digi@hbis.com.cn](mailto:digi@hbis.com.cn)

【日本での御問合せ】

(株)日立製作所 公共システム事業部グローバルビジネス推進部  
TEL: +81-3-5632-1163 FAX: +81-3-5632-1256  
E-mail: [digi@hbis.com.cn](mailto:digi@hbis.com.cn)